

3年生 第4回テスト

日	教科	範囲	ポイント	提出物
11月14日 木	社会	公民教科書 P.8~95 学習整理「公民」P.4~39、 P.40 <sup>1</sup> と41 <sup>1</sup> 「持続可能な社会に向けて～行政を監視する国会」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・憲法の条文や内容、それぞれの権利の特色などを確認しておきましょう。</li> <li>・資料(写真、グラフ等)もよく見て、何を表しているのかを確認しましょう。</li> <li>・政治や選挙の仕組みを確認しましょう。</li> </ul>	授業ノート スライド ジャムボード ※教科担任の指示を聞きましょう。
	国語	○教科書 P117~121、144~161、166~171 ○漢字練習ノート P32~43(15~20) ○国語の学習 P84~87、104~132 ○2年生までの文法 ○国語資料集 P26、27 (2・3)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・漢字は丁寧に書くこと。</li> <li>・国語の学習に丁寧に取り組み、しっかりと理解しておくこと。</li> <li>・文法は2年生までの内容をよく復習しておくこと。</li> </ul>	授業ノート
	美術	第4回テスト対策プリント 篆刻	<ul style="list-style-type: none"> <li>・対策プリントを中心に学習しておくこと。</li> <li>・授業で配布した篆刻プリント①から④について手順を確認しておくこと。</li> </ul>	篆刻プリント①、②、④

日	教科	範囲	ポイント	提出物
11月15日 金	英語	教科書 P.45~69 英語のワーク P.45~65 間接疑問文プリント①②③	<ul style="list-style-type: none"> <li>☆ 間接疑問文について十分に学習しておきましょう。</li> <li>☆ 分詞を使って、名詞を修飾できるようにしておきましょう。</li> <li>☆ 授業で学習した内容が全て出題対象です。</li> </ul>	英語のワーク
	保体	【保健分野】 教科書 P150-166 保体ノート P20-31、34 【体育分野】 アクティブ P90-97、101、102-109、124-139 保体ノート P54、56、60-61 小テスト練習プリント2枚	<p><b>※ 全て男女共通の問題になります。</b></p> 【保健分野】 教科書の太字を中心に資料も確認しましょう。保体ノートの問題も忘れずに取り組みましょう。 【体育分野】 水泳(クロールのみ)、走り幅跳び、走り高跳び(背面跳びを除く)、バスケットボールが範囲になります。技能のポイントを中心に、保体ノートやアクティブで必ず確認しましょう。	

教科	範囲	ポイント	提出物
技術	教科書 P212~215 第4回テスト対策プリント R6 チュートリアル 解説 スライド①「計測制御システム」 ②「2学期基本課題」 ③「ロボカー前半」	※技術・家庭のテストは30点満点の30分です。 ・第4回テスト対策プリントと R6 チュートリアル解説を中心に学習しておくこと。 ・クラスルームに定期テストについての資料をまとめたものを投稿します。これでテスト勉強をしてください。	①「信号機の作成」ドキュメント ②「車の基本動作」ドキュメント ③「より安全な自動運転」Figjam ④「車以外の提案」フォーム ※15日最終締切
家庭	教科書p234~237、250~252 プリント1学期④~2学期④	・プリント中心に勉強しましょう。 ・ワークの該当ページ(p96~99、102、103 4まで)も確認しましょう。	・未提出、再提出は最終締め切り ・クラスによって指示する場合があります。

日	教科	範囲	ポイント	提出物
11月18日	数学	教科書p79~152 つなげる数学p68~111	・範囲が広いです。各单元まんべんなく問題演習をしておきましょう。 ・ワークの問題だけではなく、教科書の章末問題や小テストも確認しておきましょう。	つなげる数学
	理科	教科書 P130~P191 理科の学習 P52~P74 持ち物：定規	・単位変換もふくめて計算問題をよく練習しておきましょう。 ・作図の方法を理解しておきましょう。 ・エネルギーについての考え方や、運動の法則、浮力についても理解を深めておきましょう。	・理科の学習の学習ノート ・ファイル(单元まとめを1番上にはさむこと)
	音楽	教科書 P37~39 器楽の教科書 P16 資料集 P28~29、65~67 「にじ」 自分のクラスの合唱コンクール曲	○アルトリコーダーの運指、奏法、楽譜に出てくる音楽用語・記号を、確実に覚えましょう。 ○鑑賞の作品は、旋律や使用されている楽器の特徴を理解しましょう。 ○発声や姿勢などの合唱の基本や、合唱コンクールの楽譜に出てくる拍子・音楽記号・用語などをおさえておきましょう。	

